

中野こども病院から患者保護者の皆様へ“今知ってほしい”情報を発信します

ヘルパンギーナ流行中です

ヘルパンギーナって？どうやって感染しますか？

夏かぜの代表、ヘルパンギーナはエンテロ系ウイルスという腸の中で増えるウイルスの感染で起こります。代表的なものがA群コクサッキーウイルスで、感染経路は接触もしくは飛沫感染です。患者の便に多量にウイルスが排泄されるので、おむつの処理や手洗いが感染を広めないために重要です。また家族内では兄弟で同じコップやスプーンを使わないようにしましょう。

症状は？どうやって診断しますか？

2～4日の潜伏期間を経過し、突然の発熱に続いてのどの発赤と小さな水疱がたくさんできます。体温は比較的高めで39℃から40℃程度まで上がることがあります。またのどの痛みが強く、乳児では急にミルクやおっぱいを嫌がるようになり、幼児では痛みのため食事がとれなくなることがあります。診断は症状とのどの診察所見で行います。毎年、主流となる原因ウイルスが異なるため、公的機関でウイルス分離を行い、その年の流行を把握します。

治療方法は？

特別な治療薬はありません。発熱に対して、水分補給やクーリングを行います。のどがとても痛いので、熱いものやすっぱい食べ物はダメです。どうしても食事がとれないときは、プリンやゼリーなど流し込めるもので最低限のカロリーを確保しましょう。発熱やのどの痛みは3～4日でピークを過ぎます。まったく水分もとれない場合は早めに受診し、脱水がひどくなる前に点滴を考えましょう。

気をつけなければならない症状は？

まれにウイルス性髄膜炎を起こすことがあります。高熱が続いたり、おうとが頻回になれば要注意です。脱水症状にも気をつけましょう。ぐったりしてきたり、おしっこが減ってくれば早めに受診しましょう。



高熱が出た時のおうちでのケア

○水分補給を心がけましょう

熱がある時は水分が失われやすいのでお茶や果汁、子ども用のイオン水などを、こまめに与えましょう。

○体を温めるときと、冷やすとき

手足が冷たい時や、震えて顔色が悪い時（悪寒）は温めてあげましょう。

※服を厚着させたり、毛布でくるむと熱がこもり、余計に高熱になってしまうことがあります。本人の状態を見ながら調整してください。

手足が熱く、頬が赤い時は冷やしてあげましょう。

※嫌がる時は無理にしないで大丈夫です

○解熱剤の使用について

うなされて眠れないとき、ぐずついて飲食ができないときなどに医師の指示された量と回数を守って使用しましょう。

※解熱剤を使用したからといって病気が早く治るわけではありません。使いすぎると熱の上げ下げで余計にお子様の体力を消耗させてしまうことになります。

ヘルパンギーナ のどの写真



のどの発赤と水疱



病院が七夕飾りで飾られています

外来待合・各病棟に七夕飾りが飾られています。7月3日には病棟行事「たなばたまつり」も行われました。各階に願い事を書く短冊も用意していますので、患者家族の皆様にご覧いただき書いていただいています。

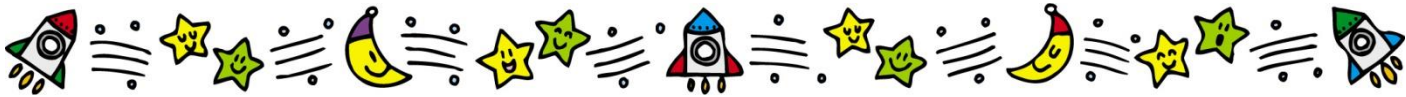


外来待合の七夕飾り



病棟の七夕飾り

笹は枯れたり、散ったりしないプラスチック製で安全にも配慮しています。病院に来られる機会があったら是非願い事を書いて飾ってください。



当院を受診される患者保護者様へ

- ただいま病院新築工事でご迷惑をお掛けしております。工事車両が病院の前を通ることもあります。警備員を配置して安全に努めていますが、保護者の方々もお子様の安全に十分ご注意ください。病院内外でお子様から目を離さないようお願い致します。
- お車で来院される際は、病院南側の立体駐車場をご利用ください。病院受診時や面会時にも無料でご利用いただけます。詳細は常駐している警備員にお声かけください。近隣のご迷惑になりますので路上駐車は絶対におやめください。
- 待合の椅子には限りがあります。子どもたちが座れないことがないように、混雑時は譲り合っておかけ下さい。なお、ベビーカーは病院玄関前にスペースを設けておりますので、ご利用ください。少しでも待合に多くの患者様が座って頂けるよう、ご協力お願い致します。
- 当院は全館禁煙、敷地内も禁煙となっております。病院の外で喫煙されても煙が病院内に入ってくることもありますので、病院周辺での喫煙もご遠慮ください。また、たばこのポイ捨ても絶対にしないでください。病気で来ている子どもたちのためにもご協力よろしく申し上げます。
- 診察、検査、処置が終わるまで飲食はご遠慮ください。もどしたり、咳込みの原因になります。